

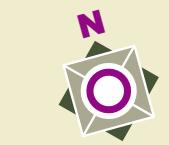
大田の魅力 再発見 馬込ウォーク Magome

新馬込橋
川瀬巴水の版画の「馬込の月」をはじめとした12作品の複製美術陶板が飾られている

再発見memo
白秋の小径
昭和3年に馬込に移った北原白秋が「きよろろ鶯」に当時の自宅周辺の様子を記している。そのルートを「白秋の小径(こみち)」として設定。

再発見memo
山王草堂記念館
日本最初の総合雑誌「国民之友」を創刊した徳富蘇峰の旧居を一部保存し、蔵書や書簡などを展示。また新島襄がアメリカから種子を持ちかえったカタリバの花が毎年5月に咲く。
9時～16時30分/年末年始休館/無料

再発見memo
尾崎士郎記念館
親しい文士に馬込住まいを勧めたといわれる馬込文士村最盛期の立役者、生前に暮らした家を改修修復し、庭とともに公開。
9時～16時30分/年末年始休館/無料



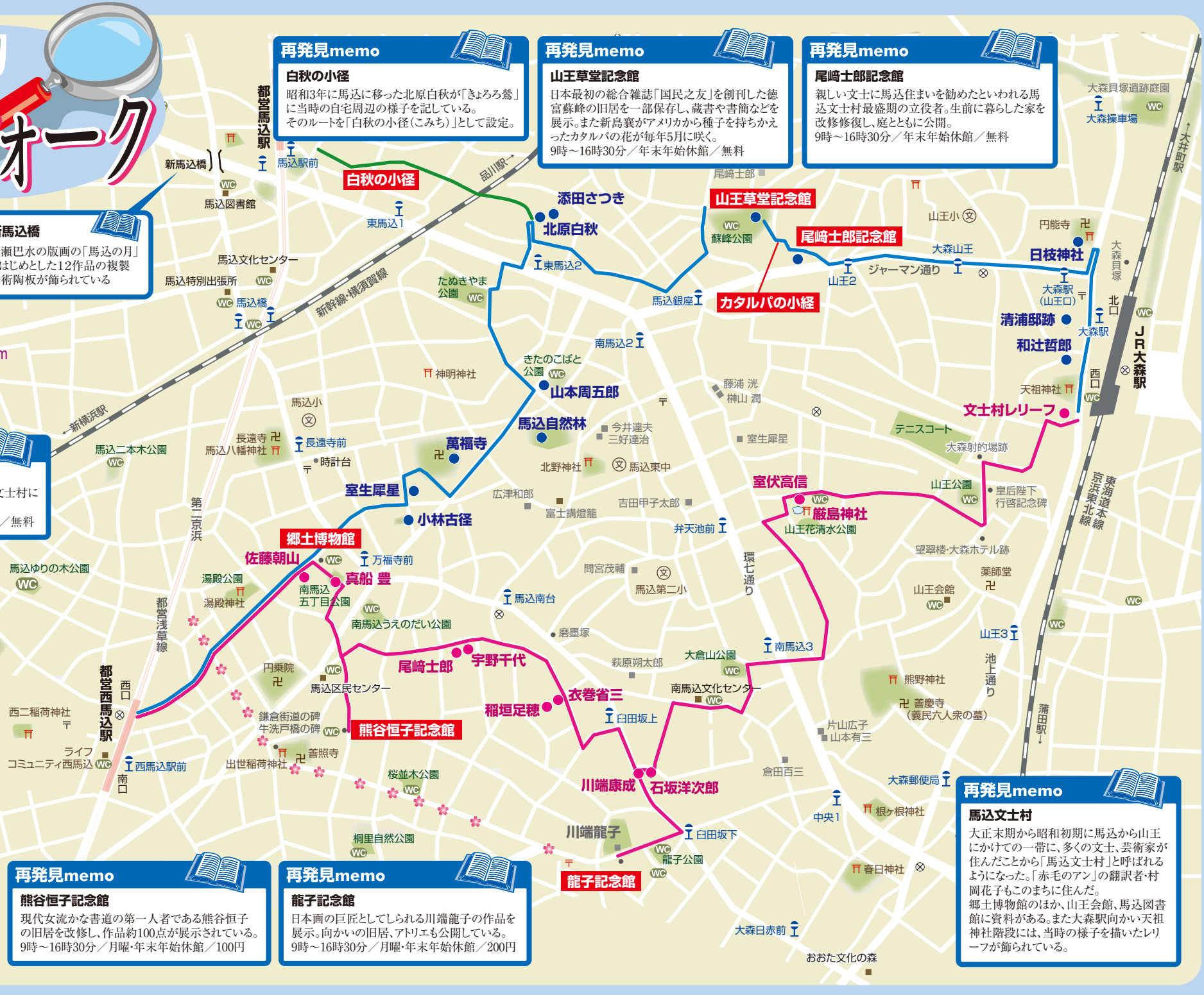
再発見memo
郷土博物館
大森貝塚などの考古資料、馬込文士村に関する資料が展示されている。
9時～17時/月曜・年末年始休館/無料

- オススメ散策道**
- 北コース 2.4km 60分
 - 南コース 3.1km 90分
 - 白秋の小径
- 文士の解説板 ⓘ バス停
● 史跡・旧跡 ■ 公共施設 ♀ 桜

再発見memo
熊谷恒子記念館
現代女流かな書道の第一人者である熊谷恒子の旧居を改修し、作品約100点が展示されている。
9時～16時30分/月曜・年末年始休館/100円

再発見memo
龍子記念館
日本画の巨匠として知られる川端龍子の作品を展示。向かいの旧居、アトリエも公開している。
9時～16時30分/月曜・年末年始休館/200円

再発見memo
馬込文士村
大正末期から昭和初期に馬込から山王にかけての一带に、多くの文士、芸術家が住んだことから「馬込文士村」と呼ばれるようになった。「赤毛のアン」の翻訳者・村岡花子もこのまちに住んだ。郷土博物館のほか、山王会館、馬込図書館に資料がある。また大森駅向かい天祖神社階段には、当時の様子を描いたレリーフが飾られている。



YES! TOKYO
大田観光協会刊
(2014年6月)